

新宮市地域における県立高等学校の再編整備について

本県では、令和4年3月に「県立高等学校教育の充実と再編整備に係る原則と指針」を策定し、今後の県立高等学校の魅力化・特色化や再編整備等の進め方を示しました。

この「原則と指針」に基づき、新宮高等学校と新翔高等学校では、当該地域における高等学校教育の在り方について検討を始め、令和4年5月以降、構想内容について、両校のホームページへの掲載や説明会での質疑応答等を行い、地域の方々から寄せられた意見を参考に、その内容を深めてきました。

令和5年11月7日に、両校校長から県教育委員会に対して、新宮高等学校・新翔高等学校再編整備案の実現に向けた要望がなされ、県教育委員会は、次のとおり両校の再編整備を進めていくこととします。

対象校	再編整備の骨子
新宮高等学校 新翔高等学校	<ul style="list-style-type: none">▶ 令和8年度に新宮高等学校と新翔高等学校を統合し、両校のこれまでの歴史や伝統、取組を継承・発展させた、新たな高等学校を設置します。▶ 新たな高等学校の課程・学科、教育課程等については、令和5年11月に両校から提出された再編整備案をもとに、可能な限り希望や願いが実現するようにします。▶ 令和6年度及び7年度の両校の入学生については、入学した高等学校での卒業とします。

《参考》 新宮高等学校・新翔高等学校両校の主な検討の経過

令和4年 5月：「一人一人のやる気と可能性に応える高校教育」案を発表し、意見募集を実施

令和4年12月：「生徒・地域社会の期待に応えるALL IN ONEの学校」をめざした構想案を発表し、意見募集を実施

令和5年 2月：「生徒・地域社会の期待に応えるALL IN ONEの学校」をめざした構想案について新宮市丹鶴ホールで説明会を実施

令和5年 9月：「新宮高等学校・新翔高等学校再編整備案」を発表し、意見募集を実施

令和5年11月：新宮高等学校・新翔高等学校再編整備案の実現に向けての要望書を県教育委員会に提出